

平成 18 年 11 月 3 日

日本女子大学の学園
学園教職員 各位

マスタープラン委員会
委員長 グュエン・ヴァン・チュエン

本学は創立以来、時代に先駆けて女子高等教育の道を切り拓き、さまざまな分野でリーダーとなる人材を輩出してきました。百年を越える本学の伝統と、社会への広く多彩な貢献については、自他ともに認めるところであると思います。

しかし、時代とともに、高等教育に求められるものも変化し、ことに大学進学者の絶対数が減少の一途を辿る現在、今まで以上に肌理細かな大学運営が必要になっています。そこで、今後とも、本学の使命を貫き、パイオニアとしての誇りを堅持していくためには、理事会をはじめ教職員が一丸となって、努力していくことが重要であると考えております。

そこで我々教員は、学園の統合・改革を検討しております。この統合・改革計画に関しては、法人側には「大学改革・キャンパス一体化検討委員会」（委員長：高木家政学部長）および学園活動評価・戦略室（室長：石川教授）が、また、教学側には、拡大マスタープラン委員会が設置され、この学園一体化・改革を検討しております。これまでに、拡大マスタープラン委員会の方で各学科の意見をまとめると共に、法人側と拡大マスタープラン委員会との間で話し合いも進めてまいりました。10月19日には、拡大マスタープラン委員会が各学科および個人から寄せられた意見を参考にいくつかのたたき台を準備し、教授会に報告しました。この中には、外部機関（コンサルティング会社）および戦略室により合同で作られたものも含まれております。これらは、現段階ではあくまでも「たたき台」であり、まだ「案」にまでは至っておりません。今後、さらに教職員の中から様々な案が提案されると予想されますので、それらを総合して拡大MP委員会と教授会とでいくつかの案を作成します。その後、それらの案を法人側に提案し、最終的に法人側が決断をするという手順となる予定です。

この大学改革・キャンパスの一体化については、大学の教員・職員だけでなく、附属の学校・機関の教職員の方々にもご理解いただき、いろいろな観点からのご意見をお寄せいただきたいと思いますと考えておりますので、ご協力のほどお願いいたします。日本女子大学の学園教職員ホームページに私共がまとめた中間報告も公開しておりますので、是非ご覧いただき、何かご意見あれば私共拡大マスタープラン委員会（kakudaimp6@ml.jwu.ac.jp）までご連絡いただきたいと思います。なお、ホームページに公開されている情報はあくまでも学園教職員の内部情報ですので、できるだけ外部に出さないようご注意ください。

また、本学に限らずどこの組織においても、改革に当たっては様々な噂や誤解が生じやすくなります。学園全体の融和・団結のためにも、このような現象が起こらないようにしていただきたいと思います。もし、皆様が気になる噂や情報などが入った場合は、高木検討委員長、石川室長、もしくは私までご一報、ご確認ください。

学園のますますの発展のために、是非ともお力添えのほど、宜しくお願い申し上げます。